

増田頼保氏



増田頼保氏は、当時、モニユメント風車を手掛けていた。1994年に異業種交流組合プロードを結成し、画期的なデザインや発想などで先導的な役割を担っていた。その時代に、アートを取り入れて風車を普及させる意味で大きな貢献をしたといえます。

増田氏は、1995年3月の生まれ、高校を卒業後、地元の役場に勤めたが、絵画やアートについて関心が高く、地元の現代美術作家で、二ユーロ一千円の所持金でスマークでも活躍した河合

頼保と智雪の二人は、100万円の所持金でスペインに旅立った。ます

### ▼コギト・エルゴ・スム!

「夢」は、現実ではない理想を抱くことであり、地にある現実と天に

増田頼保氏との出会いは、30年も前になる。当時は、互いに若かったが、風車の新機軸をめざしていた。その最初の出

会いは、風力エネルギー協会のシンポジウムではなかつたかと思う。増田氏は、当時、モニユメント風車を手掛けていた。

### ▼修行にスペインへ

勇氏(1931~80年)

のアート教室で教えを受けていた。20歳の時、そ

の教室で、当時シンガ

ソングライターをしてい

た智雪さんと出会った。

3年後、頼保は役所を辞

で、絵画の修行に出掛け

た。

勇氏(1931~80年)

のアート教室で教えを受けていた。20歳の時、そ